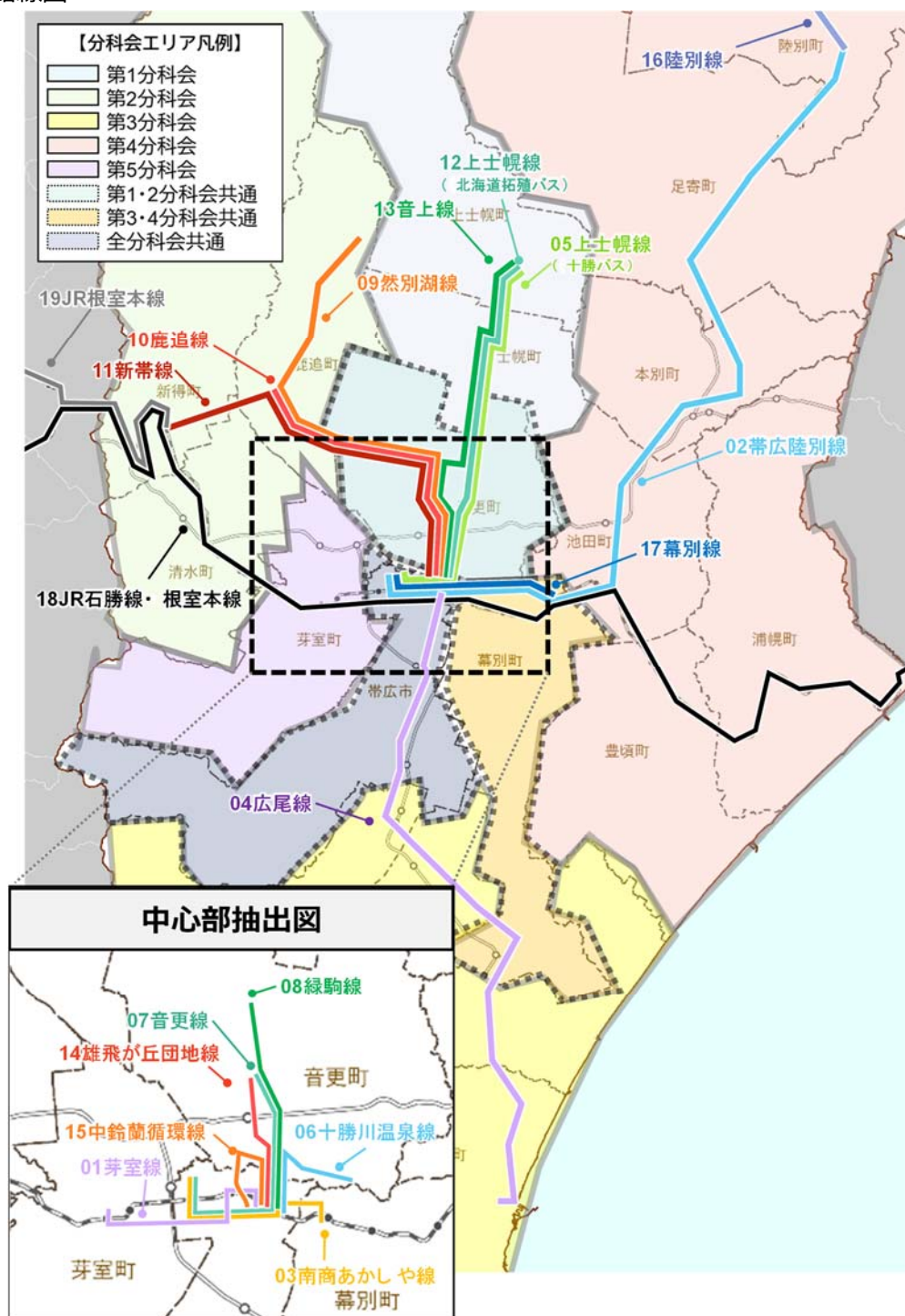


## 2.2 十勝地域の公共交通の現状について

### 2.2.1 公共交通の運行状況・利用状況

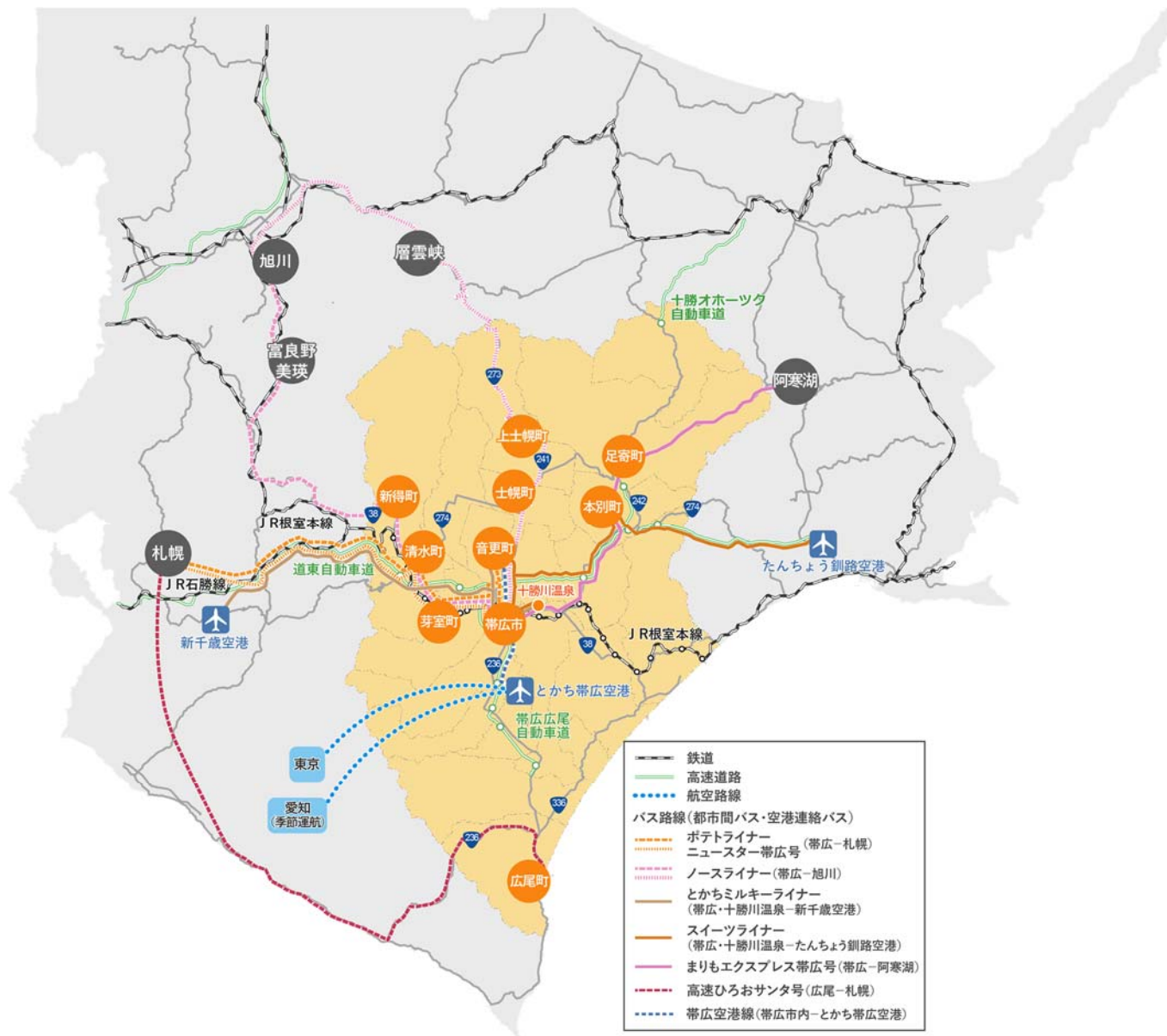
☒ 2.2.1 では、当地域における公共交通の運行状況・利用状況について示します。

#### ■ 計画の対象路線図



※中心部は路線が多数重複していることから短距離の路線などは抽出図を使用して整理しています。

■その他の関連する路線図



## (1) 鉄道

## i) 路線別運行実態

- ☑ 当地域には、帯広駅を中心として新得駅から厚内駅までの 17 駅が立地し、JR 石勝線（南千歳～新得）と JR 根室本線（滝川～新得～釧路）の 2 路線が存在しています。（※いずれも、北海道旅客鉄道株式会社が運行）
- ☑ JR 石勝線・根室本線（南千歳-新得-帯広-池田-釧路）は、管内地域を東西に横切って札幌方面と釧路方面を繋いでおり、特急列車も運行しています。JR 根室本線（滝川-富良野-新得）は、滝川と十勝地方を結ぶ路線です。新得駅-東鹿越駅間（南富良野町）は平成 28（2016）年の台風被害以降は不通となっており、代行バスが運行しています。

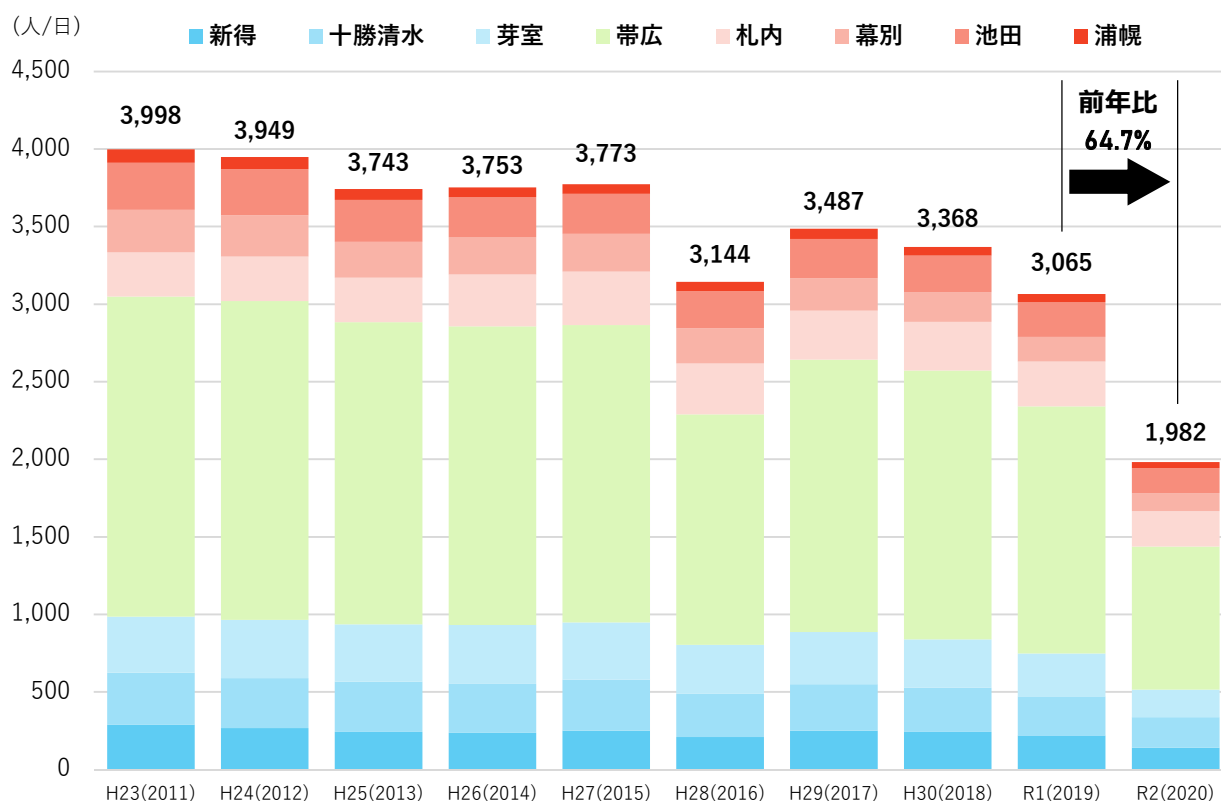
列車名	路線（区間）	上り便数 (札幌方面)	下り便数 (釧路方面)	新得町	清水町	芽室町	帯広市	幕別町	池田町	豊頃町	浦幌町
特急おおぞら	JR 石勝線・根室本線 (札幌～釧路)	6	6	○	1	1	○		○		1
特急とかち	JR 石勝線・根室本線 (札幌～帯広)	5	5	○	○	○	○				
普通列車①	JR 根室本線（新得～池田）	4	3	○	○	○	○	○	○		
普通列車②	JR 根室本線（芽室～厚内）	1	1			○	○	○	○	○	○
普通列車③	JR 根室本線（新得～釧路）	3	2	○	○	○	○	○	○	○	○
普通列車④	JR 根室本線（帯広～浦幌）	1	1				○	○	○	○	○
普通列車⑤	JR 根室本線（帯広～池田）	1	3				○	○	○		
普通列車⑥	JR 根室本線（新得～帯広）	4	5	○	○	○	○				
普通列車⑦	JR 根室本線（芽室～帯広）	2	3			○	○				
普通列車⑧	JR 根室本線（帯広～釧路）	2	3				○	○	○	○	○
普通列車⑨	JR 根室本線（芽室～釧路）	1				○	○	○	○	○	○
普通列車⑩	JR 根室本線（芽室～池田）		1			○	○	○	○		
普通列車⑪	JR 根室本線（新得～浦幌）		1	○	○	○	○	○	○	○	○
代行バス	JR 根室本線（新得～東鹿越）	5	4	○							
特急列車合計		11	11	11	6	6	11	—	6	—	1
普通列車合計		19	23	22	22	31	42	28	28	16	16
代行バス		5	4	9	—	—	—	—	—	—	—

※全便停車の場合は「○」、一部便のみ停車の場合は「停車便数」を記入

ii) 利用者数推移（主要駅）

- ☒ 当地域の JR 駅乗降客数は、平成 23（2011）年以降減少傾向にあります。
- ☒ 平成 25（2013）年から平成 27（2015）年にかけて微増しましたが、平成 28（2016）年に大きく減少（台風の影響と想定）、その後平成 29（2017）年にある程度回復したものの、その後は減少を続け、さらに新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2（2020）年には大幅に利用者数が減少しています（前年比 64.7%）。
- ☒ また乗降客比率では帯広駅が大半を占めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で最も減少したのも帯広駅となっています。これは特急列車等での圏域間移動が減少したこと（旅行者等が減少したこと）の影響と想定されます。

主要駅（対象駅名）	
北海道旅客鉄道株式会社	新得駅、十勝清水駅、芽室駅、帯広駅、札内駅、幕別駅、池田駅、浦幌駅



図：十勝管内の JR 主要駅の乗降客数推移

出典：令和 3（2021）年度十勝地域公共交通調査等委託事業資料（JR 北海道提供データ・乗降調査データ）をもとに作成

## (2) 路線バス（市町村を跨ぐ路線）

## i) 系統別運行状況

- ☑ 当地域内では、十勝バス株式会社、北海道拓殖バス株式会社の2社が路線バスを運行しています。また、北海道北見バス株式会社が北見市から陸別町までを結ぶ路線を運行しています。
- ☑ そのうち、本計画の対象となる市町村を跨ぐ広域バス路線は、地域間幹線系統 16 系統、広域生活交通路線 1 系統が運行しています。

分科会 区分	路線名	運行回数 (往復)	利用者数 (人/年)	経路	始発時間 復	終発時間	運行事業者
<b>■地域間幹線系統</b>							
第1分科会	5 上土幌線	7.3	145,546	十勝バス本社～ 上土幌交通ターミナル	往 06:34 復 06:25	19:19 19:05	十勝バス 株式会社
	6 十勝川温泉線	7.8	43,676	帯広駅バスターミナル～ エコロジーパーク	往 07:11 復 07:08	18:11 18:52	十勝バス 株式会社
	7 音更線	17.0	314,788	十勝バス本社～ 音更桜ヶ丘	往 06:14 復 06:54	19:59 20:14	十勝バス 株式会社
	12 上土幌線	4.9	60,663	帯広駅前～上土幌	往 07:05 復 06:31	21:00 16:21	北海道拓殖 バス株式会社
	13 音上線	3.4	40,188	帯広駅前～上土幌	往 07:00 復 07:21	18:35 19:11	北海道拓殖 バス株式会社
第2分科会	8 緑駒線	4.0	20,726	帯広駅前～帯広駅前	往 07:05	16:55	北海道拓殖 バス株式会社
	9 然別湖線	3.8	53,238	帯広駅前～然別湖	往 07:52 復 10:00	16:00 18:25	北海道拓殖 バス株式会社
	10 鹿追線	3.5	32,566	帯広駅前～鹿追	往 13:45 復 06:40	20:00 15:20	北海道拓殖 バス株式会社
	11 新帯線	3.5	35,203	帯広駅前～南新得	往 07:15 復 07:30	16:30 15:15	北海道拓殖 バス株式会社
	14 雄飛が丘団地線	15.6	57,192	帯広駅前～ 雄飛が丘北区	往 08:55 復 07:08	21:20 17:23	北海道拓殖 バス株式会社
15 中鈴蘭循環線	9.9	24,234	帯広駅前～帯広駅前	往 08:30 復 08:50	15:50 17:30	北海道拓殖 バス株式会社	
第3分科会	4 広尾線	12.6	157,974	帯広駅バスターミナル～ 広尾営業所	往 06:02 復 05:11	20:55 18:24	十勝バス 株式会社
第4分科会	2 帯広陸別線	8.3	121,655	十勝バス本社南口～ 陸別	往 05:12 復 05:25	19:03 18:05	十勝バス 株式会社
	3 南商あかしや線	9.4	122,174	十勝バス本社～ 幕別温泉	往 07:05 復 07:05	19:22 19:53	十勝バス 株式会社
第5分科会	1 芽室線	6.3	56,207	帯広駅バスターミナル～ 芽室駅前	往 07:45 復 06:52	18:43 18:32	十勝バス 株式会社
その他	16 陸別線	6.6	82,520	陸別～北見	往 05:54 復 05:49	19:00 18:08	北海道北見 バス株式会社
<b>■広域生活交通路線</b>							
第4分科会	17 幕別線	3.0	24,911	十勝バス本社南口～ 幕別東緑町団地	往 06:52 復 07:02	18:17 15:06	十勝バス 株式会社

出典：補助申請書類（令和3（2021）バス事業年度データ）（バス事業者提供）をもとに作成

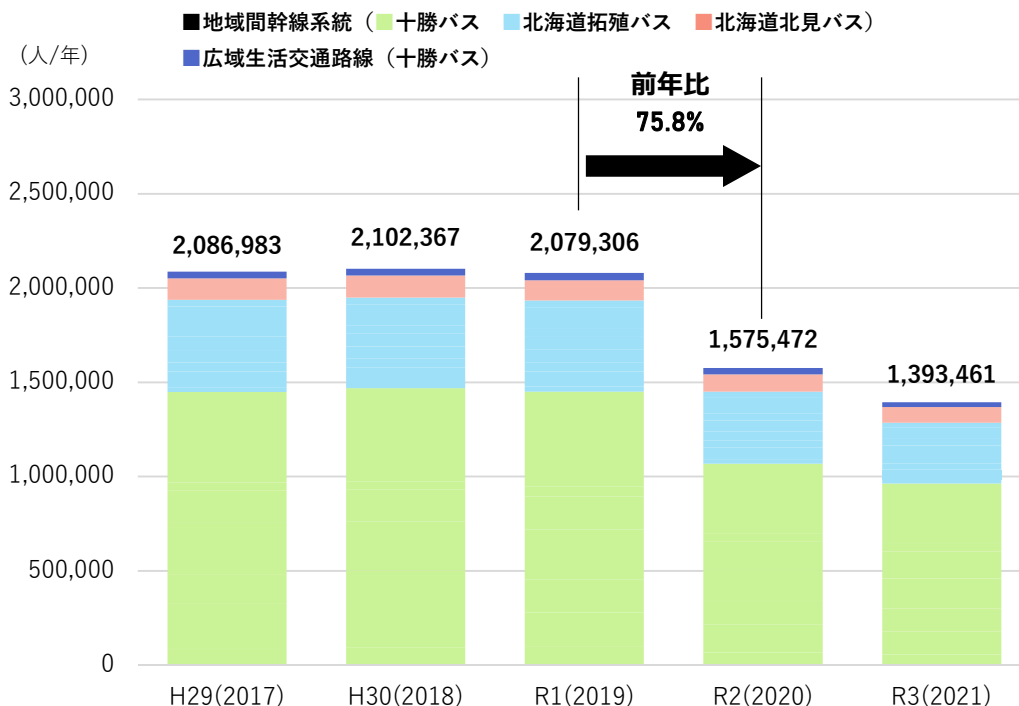
※バス事業年度とは：前年10月から当年9月までの期間を示すもので路線バスの補助申請等に用いられる年度表記。

令和4年バス事業年度とした場合、令和3年10月1日から令和4年9月30日までの期間



ii) 利用者数推移

- ☒ 利用者数は平成 29 (2017) バス事業年度から令和元 (2019) バス事業年度にかけてほぼ横ばいで推移し、年間で 200 万人を超える利用者数となっています。
- ☒ 一方で、令和元 (2019) バス事業年度から令和 2 (2020) バス事業年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大きく減少し (前年比 75.8%)、その後も十分な回復には至っていない状況です。



図：地域間幹線系統と広域生活交通路線の利用者数推移

出典：補助申請書類 (平成 29 (2017) バス事業年度～令和 4 (2022) バス事業年度データ) (バス事業者提供) をもとに作成

## (3) コミュニティバス

## i) 系統別運行状況

- ☑ 当地域では、1市9町で計14系統のコミュニティバスが運行しています。
- ☑ そのうち、3系統はデマンド方式となっています。

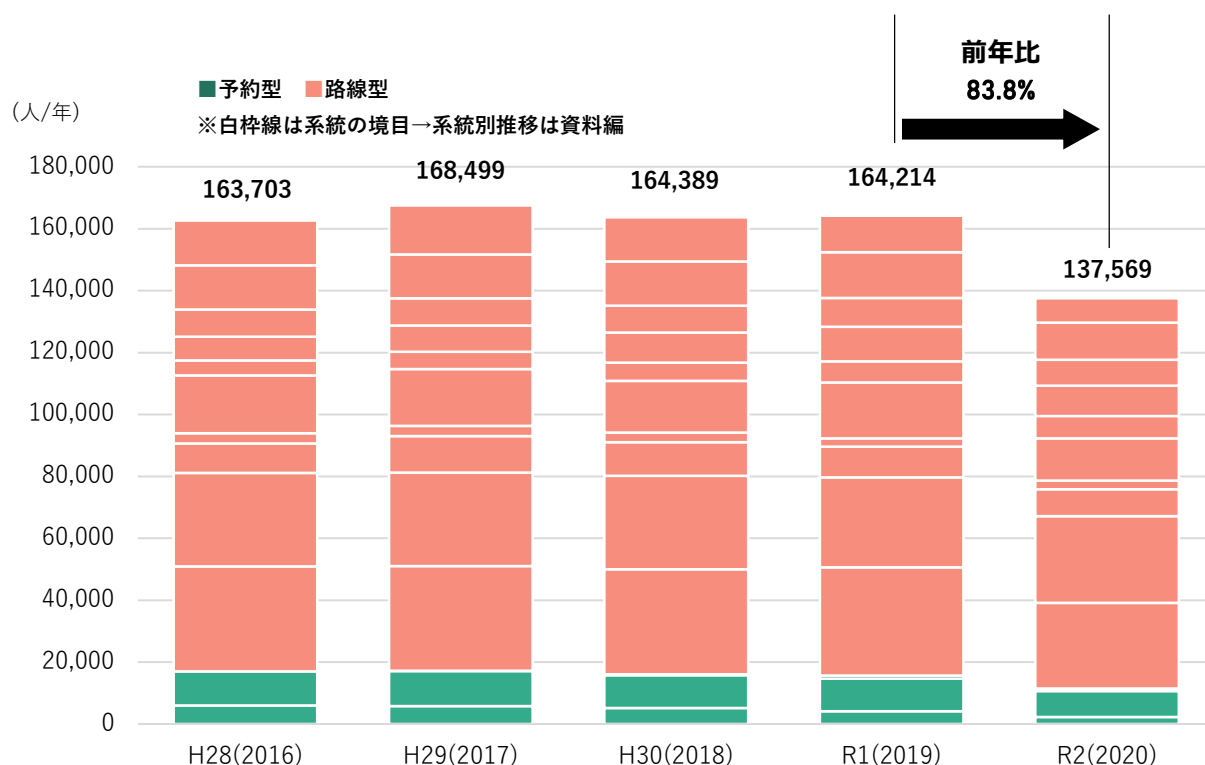
運行エリア	路線名	便数 (往復)	利用者数 (人/年)	始発時間	終発時間	運行事業者	フィーダー系 統(※)
帯広市 (デマンド)	あいのりタクシー(帯広市街 地便・大正地区内巡回便)	帯広市街地便 3.5 大正地区内巡回便 5.0	2,306人	往 07:15 復 09:35 巡回 08:00	16:00 16:50 17:40	大正交通 有限会社	○
帯広市 (デマンド)	あいのりバス (八千代線・戸蔭線)	3.5	8,320人	往 06:30 復 08:05	16:00 17:20	毎日交通 株式会社	○
音更町 (デマンド)	音更町農村地域予約制 乗合タクシー	2.0	821人	往 08:30 復 12:40	11:00 14:50	音更タクシー 有限会社	○
音更町	しらかば号	3.0	13,896人	循環 08:25	14:34	十勝バス 株式会社	○
音更町	すずらん号	3.0	14,905人	循環 08:26	14:35	北海道拓殖 バス株式会社	○
上士幌町	上士幌町 コミュニティバス	5.0	—	08:15	15:10	上士幌タクシー 有限会社	○
新得町	そばくる	5.0 3.0	4,019人 2,083人	08:00 08:50	16:00 15:05	北海道拓殖 バス株式会社	○
清水町	清水町コミュニティバス	2.0 4.0	463人 1,457人	循環 08:30 循環 10:10	16:00 14:20	北海道拓殖 バス株式会社	○
芽室町	じゃがバス	5.0	13,558人	8:00~ (循環)	16:00~ (循環)	有限会社 こぼとハイヤー	○
大樹町	コスモ	4.0	—	8:15	12:10	有限会社 雅交通	○
幕別町	まくバス	5.0	7,789人	循環 07:40	循環 15:45	十勝バス 株式会社	○
幕別町	さつバス	9.0	11,135人	循環 07:30	循環 15:35	十勝バス 株式会社	○
池田町	あいバス	7.0	7,942人	7:10	15:12	ワインタクシー 株式会社	○
本別町	太陽の丘循環バス	16.0	9,651人 ※R2.10~	7:39	16:30	本別ハイヤー 株式会社	○
足寄町	あしバス	5.0	7,679人 ※R2.10~	往 07:45	15:55	足寄タクシー 有限会社	○

出典：運行系統別輸送実績報告書(令和2(2020)年)(バス事業者提供)及び自治体提供データをもとに作成

※フィーダー系統：過疎地域や交通不便地域から地域間交通ネットワークに接続する交通で、国の地域公共交通確保維持改善事業における「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」の補助対象となっている系統

ii) 利用者数推移

- ☒ コミュニティバスの利用者数は、平成 28（2016）年から令和元（2019）年までほぼ横ばいとなっていますが、令和 2（2020）年には、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少しています（前年比 83.8%）。
- ☒ 鉄道、都市間バス、空港連絡バス、航空便、地域間幹線系統などの広域的な交通手段と比べると、減少幅は小さいと言えます。



図：コミュニティバスの利用者数推移

出典：運行系統別輸送実績報告書（平成 28（2016）年～令和 2（2020）年）（バス事業者提供）  
及び自治体提供データをもとに作成



## (4) 空港連絡バス

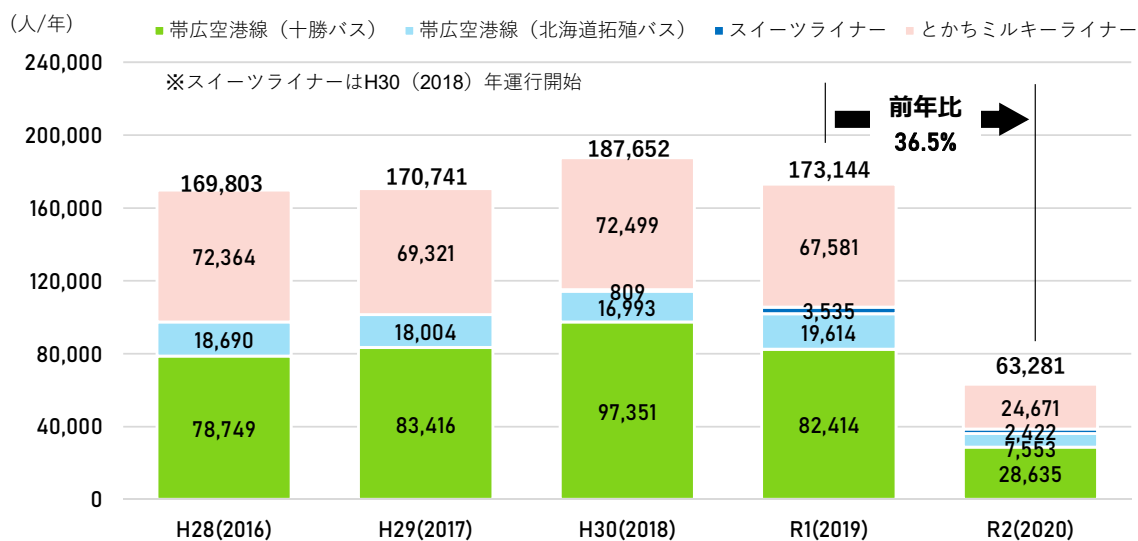
## i) 系統別運行状況

- ☑ 当地域で発着する空港連絡バスは、全4系統が運行しています。
- ☑ 行先は、とちち帯広空港、新千歳空港、たんちよう釧路空港となっています。

系統名	運行主体	起終点及び経由地	便数
帯広空港線	十勝バス	帯広市内～とちち帯広空港 (帯広駅バスターミナル経由)	7 往復
帯広空港線	北海道拓殖バス 十勝バス	道の駅おとふけ～とちち帯広空港 (ホテルまわり) ※十勝バス便：帯広市内発着 1 往復	空港着 7 便 空港発 9 便
とちちミルキーライナー	おびうん観光 北都交通	南千歳～新千歳空港～帯広・十勝川温泉 (道の駅おとふけ経由便あり)	6 往復
スイーツライナー	北海道拓殖バス	十勝川温泉・帯広～たんちよう釧路空港 ※スイーツライナーは令和5(2023)年3月26日から運休中	2 往復

## ii) 利用者数推移

- ☑ 当地域を起終点とする空港連絡バスの利用者数は、平成30(2018)年までは増加傾向にありましたが、令和元(2019)年は減少に転じています。
- ☑ さらに、令和2(2020)年には、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大きく減少しています(前年比36.5%)。



図：空港連絡バスの利用者数推移

出典：令和3(2021)年度十勝地域公共交通調査等委託事業資料(バス事業者提供)をもとに作成

## (5) 都市間バス

## i) 系統別運行状況

- ☑ 当地域で発着する都市間バスは、全 5 系統が運行しています。
- ☑ 行先は、道内主要都市である札幌市・旭川市、道東の観光地である阿寒湖です。

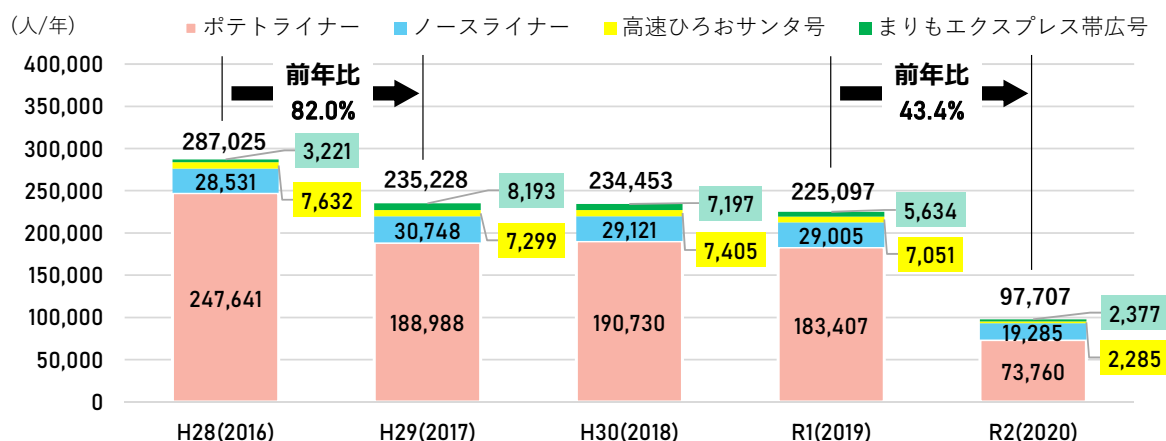
系統名	運行主体	起終点及び経由地	便数
ポテトライナー	北海道中央バス ジェイ・アール北海道バス 北都交通 十勝バス 北海道拓殖バス	札幌～帯広 (音更経由・芽室経由あり)	10 往復
ニュースター帯広号	HOKKAIDO BUS	札幌～帯広	6 往復
ノースライナー	道北バス 十勝バス 北海道拓殖バス	帯広～旭川 (狩勝峠経由・三国峠経由)	4 往復
高速ひろおサンタ号	ジェイ・アール北海道バス	札幌～広尾 (浦河町経由)	1 往復
まりもエクスプレス帯広号	網走観光交通	帯広・十勝川温泉～阿寒湖	1 往復

※その他にもスイーツライナー、とかちミルクライナーが圏域を跨いで運行していますが、行先が空港となっているので、「空港連絡バス」の区分に記載しています。

※まりもエクスプレス帯広号は、令和 4（2022）年 4 月 1 日から運休中  
(情報出典：[https://tsurugasp.com/tsuruga-travel/transfer\\_bus/90/](https://tsurugasp.com/tsuruga-travel/transfer_bus/90/))

## ii) 利用者数推移

- ☑ 当地域を起終点とする都市間バスの利用者数は、平成 28（2016）年から平成 29（2017）年にかけて（前年比 82.0%）と、令和元（2019）年から令和 2（2020）年にかけて（前年比 43.4%）利用者数が大きく減少しています。
- ☑ 令和 2（2020）年は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少しています。



図：都市間バスの利用者数推移

出典：令和 3（2021）年度十勝地域公共交通調査等委託事業資料（バス事業者提供）をもとに作成

## (6) 航空便

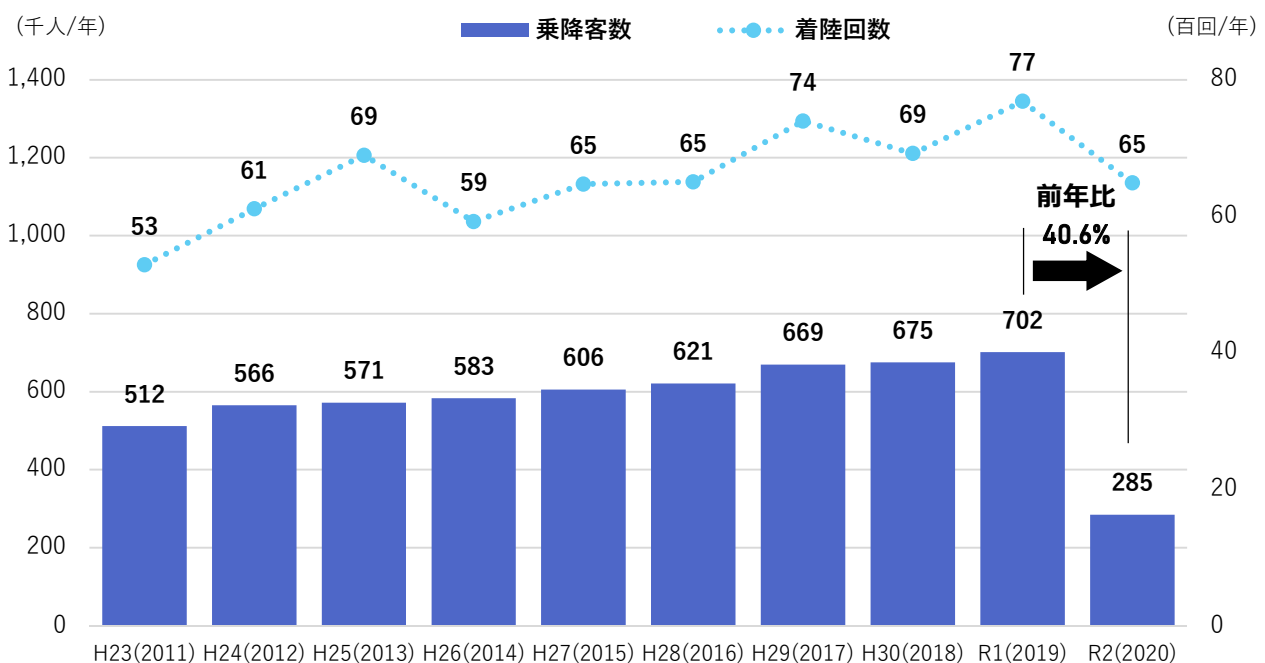
## i) 路線別運行状況

- ☑ 当地域には、とちぎ帯広空港が立地しています。
- ☑ とちぎ帯広空港には、日本航空およびAIRDOの計3路線が就航しています。(うち1路線は季節運航)

路線名	運航主体	起終点	便数	備考
帯広羽田線	日本航空	とちぎ帯広空港～東京羽田	8	
帯広名古屋線	日本航空	とちぎ帯広空港～名古屋	0 (2)	※季節運行・月水金日運行 令和4(2022)年実績
帯広羽田線	AIRDO	とちぎ帯広空港～東京羽田	6	

## ii) 乗降客数及び着陸回数推移

- ☑ とちぎ帯広空港発着便の乗降客数は、平成23(2011)年から令和元(2019)年にかけて右肩上がりに増加しています。これはインバウンドの増加等が一要因と考えられます。
- ☑ 一方で、令和2(2020)年は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大きく減少しています(前年比40.6%)。



図：航空便の乗降客数・着陸回数推移

出典：「空港利用状況調査」(国土交通省)をもとに作成

(7) タクシー・ハイヤー

i) 管内のタクシー・ハイヤー事業者

☒ 当地域では、30事業者がタクシー・ハイヤーを運行しています。

登録事業者	
帯広交通圏	帯広ハイヤー(株)、東洋ハイヤー(有)、(株)まりもハイヤー、大正交通(有)、TK タクシー(株)、東京ハイヤー(株)、金星釧路ハイヤー(株)、こぼとハイヤー(株)、十勝バス(株)、音更タクシー(有)、北斗タクシー(有)、エイシン運輸(有)、ワインタクシー(株)、北海道拓殖バス(株)、東京太陽(株)
広尾圏	広尾タクシー(有)、(有)港タクシー、(有)大樹ハイヤー、(有)雅交通、(有)北海陸運（長期休止中）、門工業(株)
足寄圏	足寄タクシー(有)、陸別ハイヤー(有)、本別ハイヤー(有)
清水圏	(有)士幌ハイヤー、上士幌タクシー(有)、鹿追ハイヤー(有)、新得ハイヤー(有)、(株)新交通（長期休止中）、昭和タクシー(有)

※帯広交通圏：帯広市、音更町、芽室町、幕別町（忠類除く）、中札内村、更別村、池田町

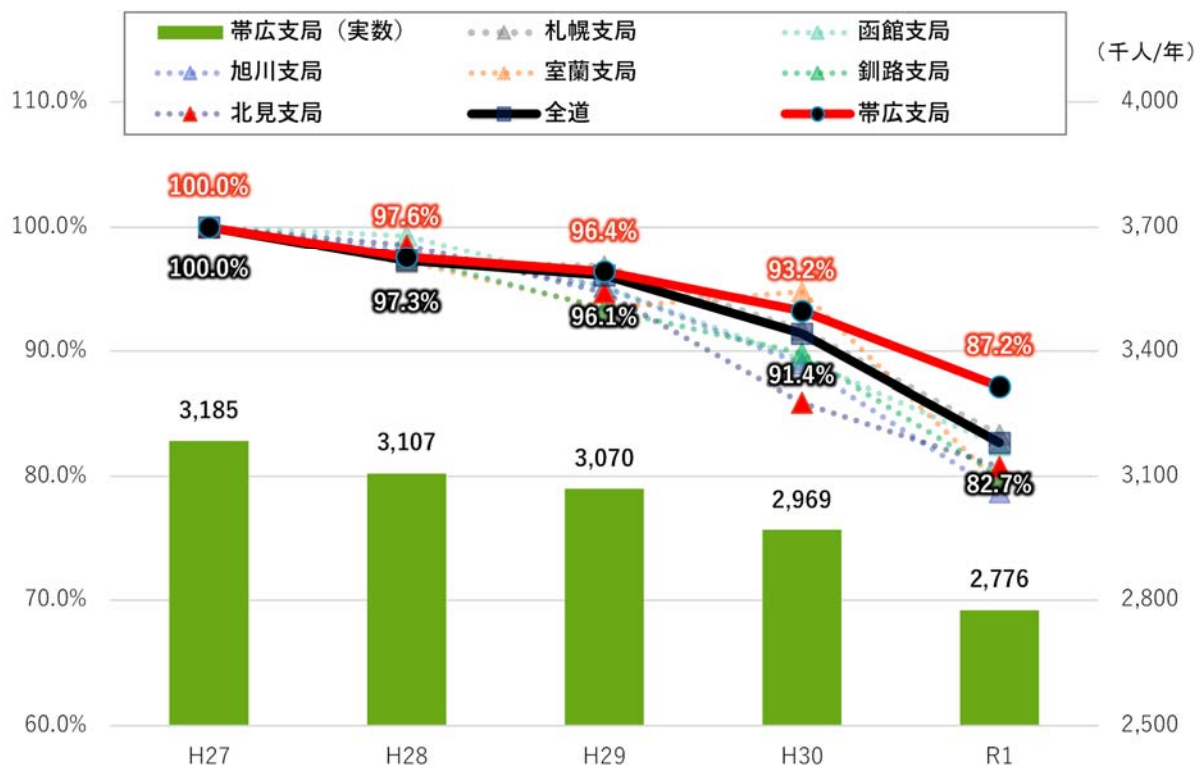
※広尾圏：豊頃町、広尾町、大樹町、幕別町忠類、浦幌町

※足寄圏：足寄町、陸別町、本別町

※清水圏：士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町

ii) 利用者数推移（運輸支局別指数表示）

☒ 道内のタクシー輸送人員（利用者数）は、いずれの支局でも減少傾向にあります。帯広運輸支局管内では比較的減少割合が小さい状況です。



図：タクシー輸送人員推移（増減率表示）・平成 27（2015）年比

出典：「北海道の運輸の動き（年報）（平成 27（2015）年～令和元（2019）年）」（北海道運輸局）をもとに作成

## 2.2.2 JR 乗降調査

- 2.2.2 では、令和 3（2021）年度に実施した JR 乗降調査に基づいて、当地域主要駅の利用者数・利用時間帯・利用者属性等について示します。

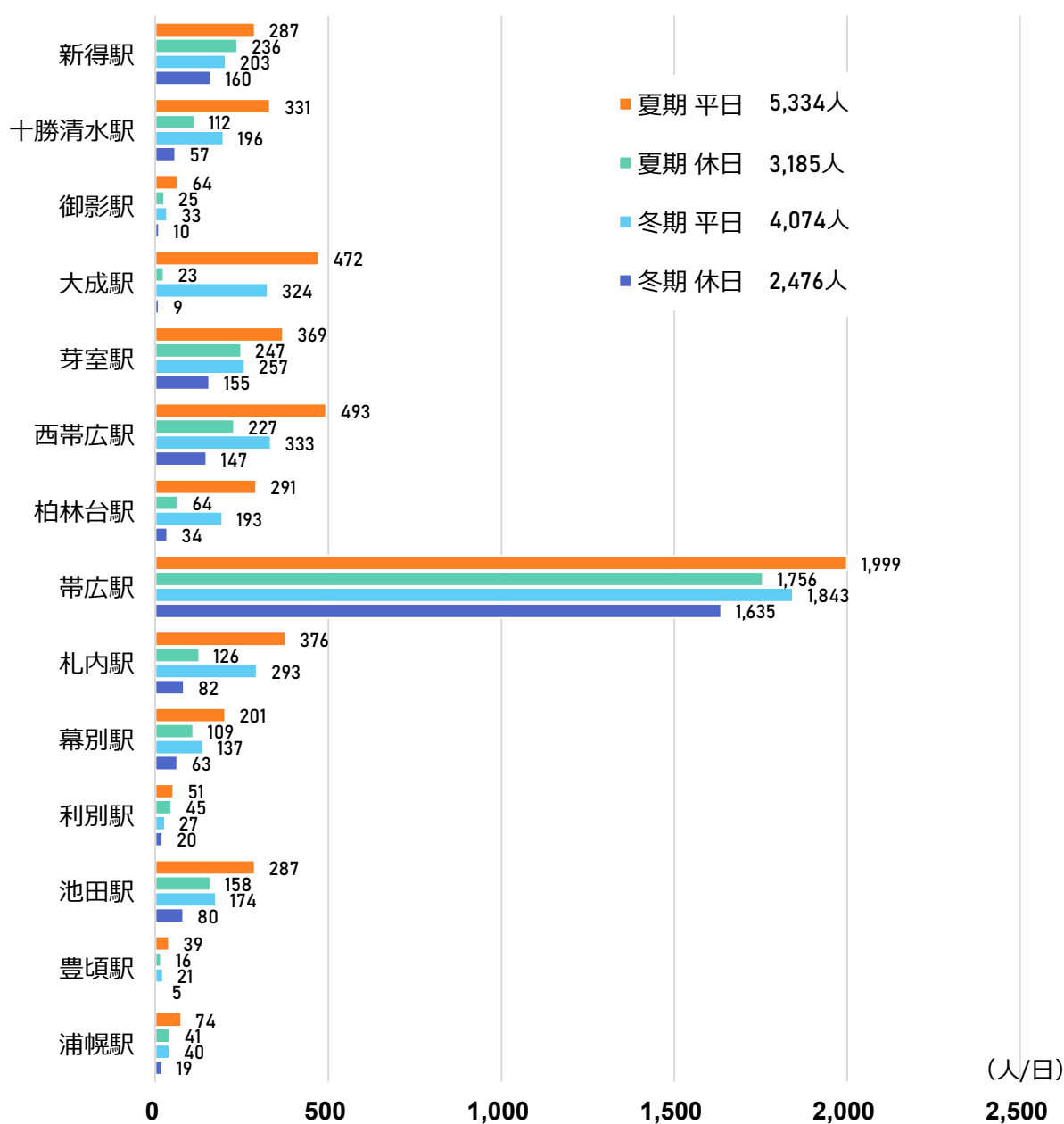
### (1) 調査概要

- JR 乗降調査では、当地域の各主要駅の乗降者数について、調査員の目視カウントにより調査し、取りまとめています。
- 調査対象駅は、以下に示す 14 駅としています。
- なお調査対象日数は、夏期・冬期それぞれ平日・休日 1 日ずつとしています。冬期調査は特急列車停車駅や利用者数の多い駅における平日調査のみとし、調査を行わない駅及び休日データは、収集したデータに基づく推計によってデータを補完し取りまとめています。

調査対象駅	夏期調査日程	冬期調査日程
新得駅	平日・休日	平日
十勝清水駅	平日・休日	平日
御影駅	平日・休日	
芽室駅	平日・休日	平日
大成駅	平日・休日	
西帯広駅	平日・休日	
柏林台駅	平日・休日	
帯広駅	平日・休日	平日
札内駅	平日・休日	平日
幕別駅	平日・休日	平日
利別駅	平日・休日	
池田駅	平日・休日	平日
豊頃駅	平日・休日	
浦幌駅	平日・休日	
調査日程 (全駅同日実施)	令和 3（2021）年 10 月 17 日（日） 令和 3（2021）年 10 月 18 日（月）	令和 4（2022）年 2 月 8 日（火）

(2) 利用者数

- ☒ 利用者数は平日が休日よりも多く、その割合（平休比）は、夏期 1.67 倍、冬期 1.65 倍となっています。
- ☒ 夏期・冬期ともに、駅周辺に高校が立地する十勝清水駅、大成駅、柏林台駅、札内駅では、平日と休日の利用差が大きいことが分かります。
- ☒ 夏期に比べて冬期の利用者数は全体的に少なく、特に御影駅、利別駅、豊頃駅、浦幌駅は他の駅に比べて平日・休日ともに利用者数が少ない状況です。（夏期 2 日合計 = 8,519 人、冬期 2 日合計 = 6,550 人、夏・冬比 = 1.30）



図：十勝管内主要鉄道駅の利用者数

出典：令和 3（2021）年度十勝地域公共交通調査等委託事業資料をもとに作成

夏期調査：令和 3 年 10 月 17 日（日）・18 日（月）／冬期調査：令和 4 年 2 月 8 日（火）※冬期休日は推計値



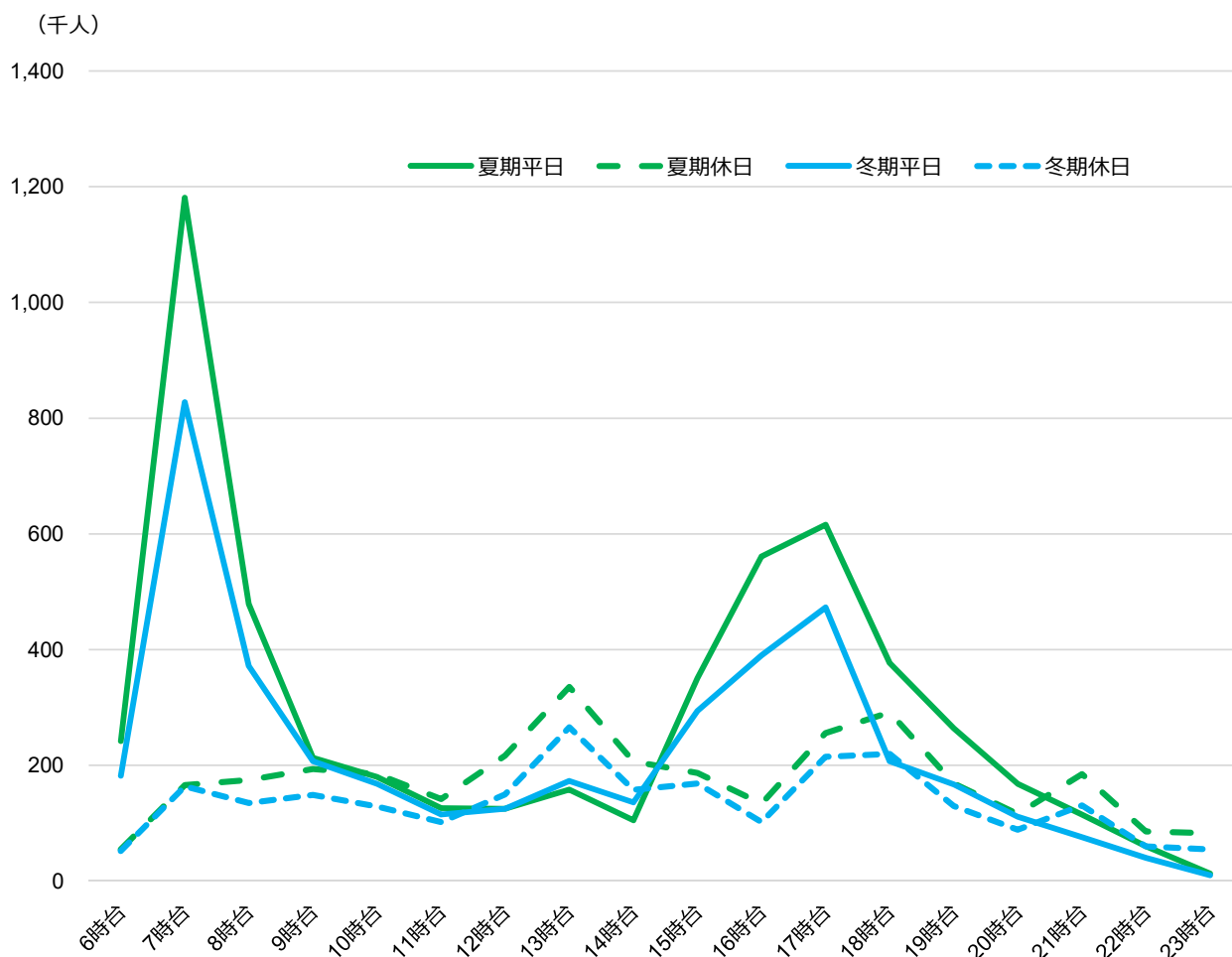
### (3) 利用時間帯

#### 【夏期】

- ☒ 平日の利用者数が多い時間帯は、朝7時台、夕方16時・17時台です。
- ☒ 休日の利用者数が多い時間帯は、昼13時台、夕方18時台、夜21時台です。
- ☒ 休日に比べて、平日はピーク時間に利用が集中しています。

#### 【冬期】

- ☒ 平日の利用者数が多い時間帯は、朝7時台、夕方17時台です。
- ☒ 休日の利用者数が多い時間帯は、昼13時台、夕方17時・18時台です。
- ☒ 夏期と同じく、休日に比べて、平日はピーク時間に利用が集中しています。
- ☒ 夏期と比べて、平日・休日ともにピークの山が小さく、夕方以降の遅い時間の利用が少ない傾向が見られます。



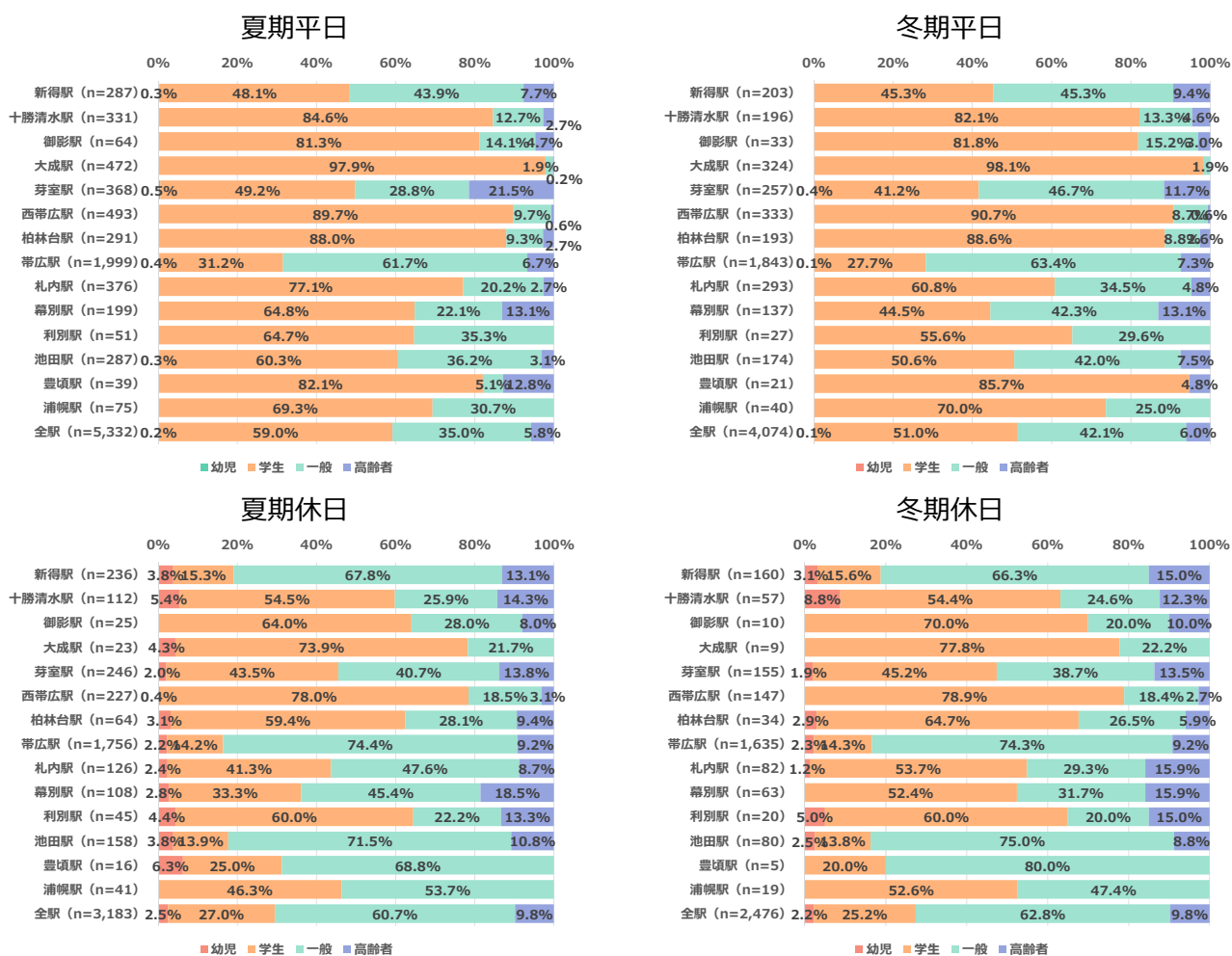
図：十勝管内主要鉄道駅の時間帯別利用者数

出典：令和3（2021）年度十勝地域公共交通調査等委託事業資料をもとに作成

夏期調査：令和3年10月17日（日）・18日（月）／冬期調査：令和4年2月8日（火）※冬期休日は推計値

### (4) 利用者属性

- 調査対象駅の大半は、学生利用が主となっています。特に芽室高校に近接する大成駅では学生割合が9割を超えています。
- 一方で、新得駅、帯広駅、芽室駅といった特急列車の多い駅では、一般・高齢者等の属性割合も多いことが分かります。またその特性は特に休日で顕著に表れています。
- 各駅の利用者属性の傾向は、夏期と冬期で大きな差異は見られません。



※属性把握は調査員による目視確認

※冬期休日は推計値

図：十勝管内主要鉄道駅の属性別利用者数

出典：令和3（2021）年度十勝地域公共交通調査等委託事業資料をもとに作成

夏期調査：令和3（2021）年10月17日（日）・18日（月）／冬期調査：令和4（2020）年2月8日（火）

## 2.2.3 路線バス OD 調査

- ☑ 2.2.3 では、令和 3（2021）年度に実施した路線バス OD 調査に基づいて、本計画の対象路線の実態について示します。OD 調査の調査結果（OD 図等）は資料編に記載します。

※OD 調査：O は起点(origin)、D は終点(destination)を表し、「起終点調査」とも呼ばれます。バス利用者個人ごとの乗車バス停と降車バス停の双方を合わせて把握することで「移動経路」を整理することが可能な調査です。

### (1) OD 調査実施概要

- ☑ 路線バス OD 調査の調査対象路線は、地域間幹線系統 15 路線とします。  
（※16 陸別線については当該調査では実施していません）
- ☑ 以下に対象路線の一覧と OD 調査の方法・調査日程を示します。

分科会区分	路線名	運行事業者	調査方法	令和 3（2021）年度	
				夏期調査	冬期調査
第 1 分科会	5 上士幌線	十勝バス株式会社	ビンゴ式調査票	10/24・25	2/22・23
	6 十勝川温泉線	十勝バス株式会社	ビンゴ式調査票	10/20・24	2/22・23
	7 音更線	十勝バス株式会社	ビンゴ式調査票	10/24・25	2/22・23
	12 上士幌線	北海道拓殖バス株式会社	運賃箱データ分析	10 月データ	2 月データ
	13 音上線	北海道拓殖バス株式会社	運賃箱データ分析	10 月データ	2 月データ
第 2 分科会	8 緑駒線	北海道拓殖バス株式会社	運賃箱データ分析	10 月データ	2 月データ
	9 然別湖線	北海道拓殖バス株式会社	運賃箱データ分析	10 月データ	2 月データ
	10 鹿追線	北海道拓殖バス株式会社	運賃箱データ分析	10 月データ	2 月データ
	11 新帯線	北海道拓殖バス株式会社	運賃箱データ分析	10 月データ	2 月データ
	14 雄飛が丘団地線	北海道拓殖バス株式会社	運賃箱データ分析	10 月データ	2 月データ
	15 中鈴蘭循環線	北海道拓殖バス株式会社	運賃箱データ分析	10 月データ	2 月データ
第 3 分科会	4 広尾線	十勝バス株式会社	ビンゴ式調査票	10/24・25	2/22・23
第 4 分科会	2 帯広陸別線	十勝バス株式会社	ビンゴ式調査票	10/17・18	2/22・23
	3 南商あかしや線	十勝バス株式会社	ビンゴ式調査票	10/20・23	2/22・23
第 5 分科会	1 芽室線	十勝バス株式会社	ビンゴ式調査票	10/17・21	2/22・23

※ビンゴ式調査票：調査員が対象路線に乗車して利用者にビンゴ式調査票（※資料編を参照）を配布回収する方法

※運賃箱データ分析：運賃箱で回収する整理券データに基づいて乗降バス停を把握する分析方法

## (2) 調査対象バス路線の利用実態

## ■第1分科会

## 5 上士幌線（十勝バス株式会社）

- ☒ 主に音更町・士幌町・上士幌町と **帯広市との往来** に利用されています。
- ☒ **帯広市内での移動** にも利用されています。
- ☒ 音更町・士幌町・上士幌町では、**町内で完結する移動** や **3 町間での往来** は行われていません。

## 6 十勝川温泉線（十勝バス株式会社）

- ☒ 主に **帯広市内と音更町（木野・宝来／十勝川温泉街）との往来** に利用されています。
- ☒ 帯広市と音更町の **各々の内部で完結する移動** には、あまり利用されていません。
- ☒ 冬期において、**音更町（木野・宝来）から帯広市内への移動** は顕著に増加しています。

## 7 音更線（十勝バス株式会社）

- ☒ 主に **帯広市内での移動** に利用されています。特に、新緑通り沿いで完結する移動や新緑通り沿いから帯広駅周辺での利用が多い状況です。
- ☒ **音更町内で完結する移動** や **音更町と帯広市との往来** にも利用されています。
- ☒ 利用状況は、[新緑通り～帯広駅] と [帯広駅～音更町] という 2 つのニーズに分かれており、**帯広駅をまたぐ移動ニーズ** の構成比は低い状況です。

## 12 上士幌線（北海道拓殖バス株式会社）

- ☒ 主に、音更町・士幌町・上士幌町と **帯広市との往来** に利用されています。
- ☒ **音更町と上士幌町との往来** にも利用されています。
- ☒ **沿線の各市町村内での移動** にはあまり利用されていません。

## 13 音上線（北海道拓殖バス株式会社）

- ☒ 主に、音更町・士幌町・上士幌町と **帯広市との往来** に利用されています。
- ☒ **音更町（国道沿い）と上士幌町との往来** にも利用されています。
- ☒ **沿線の各市町村内での移動** にはあまり利用されていません。

## ■第2分科会

## 8 緑駒線（北海道拓殖バス株式会社）

- ☒ 主に、**帯広市と音更町との往来** や **音更町内での移動** に利用されています。
- ☒ 上記の移動ニーズは、いずれも帯広駅や音更町サンドーム周辺で発生しています。
- ☒ 帯広市と音更高校・駒場間の移動は、往路と復路で利用者数に差が見られます。

## 9 然別湖線（北海道拓殖バス株式会社）

- ☒ 主に、音更町・鹿追町と **帯広市との往来** に利用されています。
- ☒ **音更町内で完結移動** も見られますが、**帯広市内や鹿追町内で完結する移動** には利用されていません。
- ☒ 然別湖への観光需要によって、帯広市と鹿追町との往来が **冬期に増加** する傾向が窺えます。

## 10 鹿追線（北海道拓殖バス株式会社）

- ☒ 主に、音更町・鹿追町と **帯広市との往来** に利用されています。
- ☒ **音更町内や鹿追町内で完結する移動** にはあまり利用されていません。
- ☒ 帯広市と音更町との往来は **冬期に増加する傾向** が窺えます。

## 11 新帯線（北海道拓殖バス株式会社）

- ☑ 主に、音更町・鹿追町・新得町と **帯広市との往来** に利用されています。
- ☑ **音更町内で完結する移動** や **音更町と鹿追町との往来**、**新得町内で完結する移動** にも利用されています。
- ☑ **帯広市内や鹿追町内で完結する移動** や **清水町での利用** はほとんど見られません。

## 14 雄飛が丘団地線（北海道拓殖バス株式会社）

- ☑ 主に、**帯広市と音更町（サンドーム以南）との往来** に利用されています。
- ☑ 帯広市と音更町（サンドーム以北）や音更高校方面との利用も見られます。

## 15 中鈴蘭循環線（北海道拓殖バス株式会社）

- ☑ 主に、**帯広駅（十勝大橋方面）と鈴蘭・清和との往来** に利用されています。
- ☑ **帯広駅（鈴蘭大橋方面）と鈴蘭・清和との往来** にも利用されています。
- ☑ 右回り（十勝大橋先回り）と左回り（鈴蘭大橋先回り）で利用数に大きな差は見られません。

## ■第3分科会

## 4 広尾線（十勝バス株式会社）

- ☑ 管内でも有数の長距離路線ですが、主に **帯広市内での移動** に利用されています。特に、川西 IC 以北区間で完結する利用が多く、またこの区間利用は冬期に顕著に増加しています。
- ☑ 帯広市以南の町村では、主に **帯広市（川西 IC 以北）との往来** や 中札内村・更別村・幕別町忠類・広尾町と **大樹町との往来**、**広尾町内での移動** にも利用されています。

## ■第4分科会

## 2 帯広陸別線（十勝バス株式会社）

- ☑ 管内でも有数の長距離路線ですが、主に **帯広市内での移動** に利用されています。
- ☑ 帯広市との距離が短い幕別町・池田町・本別町では、主に **帯広市との往来** で利用されています。
- ☑ 帯広市との距離が長い足寄町・陸別町では、**隣接する町との往来** に利用されています。
- ☑ 帯広市以外では、**各々の町内で完結する移動** にはほとんど利用されていません。

## 3 南商あかしや線（十勝バス株式会社）

- ☑ 主に、**帯広市内の移動** に利用されています。特に、帯広駅以西でのニーズが高い状況です。
- ☑ 帯広市と幕別町との往来では、**帯広駅周辺までの区間利用** が大半を占めています。
- ☑ 幕別温泉需要により、冬期の **帯広市から幕別町への移動ニーズ** が増加している傾向が窺えます。
- ☑ **幕別町内で完結する移動** にはあまり利用されていません。

## ■第5分科会

## 1 芽室線（十勝バス株式会社）

- ☑ 主に、**帯広市内での移動** や **帯広市と芽室町との往来** に利用されています。
- ☑ **芽室町内で完結する移動** にはあまり利用されていません。

## ■その他

## 16 陸別線（北海道北見バス株式会社） ※記載内容は「北海道オホーツク地域等公共交通計画」から引用

- ☑ 陸別から北見方面行きでは、平均車内人数は 4.6 人であり、「陸別」「学友橋」「訓子府駅」「北光 4 号線」等での乗車が多く、「北見」での降車が多い状況です。
- ☑ 北見から陸別方面行きでは、平均車内人数は 6.4 人であり、「北見」からの乗車が多く、「北光 4 号線」での降車が多い状況です。

## 2.2.4 域内住民のバス利用ニーズ

- 2.2.4 では、令和 3（2021）年度に実施した路線バス利用者や管内住民向けのアンケート調査に基づいて、路線バスの利用ニーズやサービスへの意向について示します。アンケート調査の調査結果は資料編に記載します。

### (1) アンケート調査実施概要

- アンケート調査は、路線バス車内への留め置きや管内自治体への配布等により行いました。
- 回収数は 589 件となりましたが、自治体によって回収数に差異が見られます。

#### i) 調査方法・調査期間

調査方法	調査期間 令和 3（2021）年度	説明
留め置きアンケート	・10/17～12/31	・調査票をバス車内やバスターミナル等に留め置いて、回答を促す方法。回収は郵送回収
調査員による 手渡し配布	・10/16～10/25	・路線バス OD 調査におけるビンゴ式調査票配布時に、合わせて調査票を配布。回収は郵送回収
管内自治体による 協力	・11/24～12/31	・管内自治体に協力を仰ぎ、庁舎内での留め置き、または関係者や会合等で配布。回収は郵送回収
QR コード経由の WEB アンケート	・10/16～12/31	・WEB アンケートの QR コードを作成し、ポスターに印字の上でバス車内やバスターミナル、自治体庁舎内等に掲示

#### ii) 調査設計について

設問区分	設問項目
個人属性	性別、年齢、職業、居住地、就業先または通学先 運転免許保有状況、日常的に利用している移動手段
路線バスの利用状況	利用しているバス路線名、利用頻度、利用目的 乗車バス停/降車バス停、乗車バス停までの移動手段 降車バス停からの移動手段、利用満足度、改善してほしい点
（上記以外の）外出行動	外出目的、外出頻度、移動手段（夏期/冬期）、目的地
バス利便性向上に向けた意見	新たに欲しいサービス、バス停やターミナルに必要な設備・機能

#### iii) 回収状況

- ・目標回収件数：383 件（統計的有意数）
- ・回収件数：589 件（うち郵送回収 478 件、WEB 回収 111 件）



## (2) 利用ニーズやサービスへの意向の実態

### 1) 利用の概況

- ☒ 回答者のうち 34.1%は、「日常の移動手段」としてバスを利用している状況です。
- ☒ 利用頻度は、「0~5 日/月」が最も多く、バス以外が主たる移動手段となっている状況が窺えます。
- ☒ バス利用目的（複数回答可）では、買物 35.2%、外食・娯楽 28.1%、通院 23.2%、通勤 22.9%、の順に多い状況です。
- ☒ バス利用の満足度は、「満足」と「やや満足」を合わせて 51.2%と半数を超えています。

### 2) バスサービスへの改善意向

- ☒ バスサービスについて改善してほしい内容は、便数 57.7%、ダイヤ 29.8%、終発時間 18.8%、の順に多い状況です。
- ☒ バス停までの距離（自宅側 1.8%・目的地側 4.8%）に関する要望や、速達性 4.8%、情報機能 7.4%に対する改善要望は少ない状況です。

### 3) 新たに導入してほしいサービス

- ☒ 新たに導入してほしいバスサービスでは、十勝全域共通定期券 32.8%、デジタルチケット 27.4%、共通乗車券・共通定期券 25.4%の順に多い状況です。

### 4) バス停やバスターミナルに必要な設備・機能

- ☒ バス停やバスターミナルに必要な設備・機能は、屋根 56.1%、ベンチ 42.6%、トイレ 31.6%など、快適にバスを待つことのできる休憩機能への要望が多い状況です。
- ☒ 買物施設や飲食施設などの付帯サービス、券売機や音声案内などのサービスシステム導入に関する要望は少ないことから、追加的な機能よりも、快適にバスを待つ環境整備が求められていることが分かります。

## 2.2.5 旅行者の移動ニーズ

- ☒ 2.2.5 では、令和 3（2021）年に実施した当地域への旅行者を対象とした観光行動履歴調査に基づいて、移動ニーズ＝路線バス等の公共交通利用の潜在ニーズについて示します。

### (1) 観光行動履歴調査実施概要

- ☒ 調査は、とちぎ帯広空港に到着した旅行者へ GPS 機器を貸し出して、旅行中の移動記録をデータ化するという内容です。
- ☒ 30 組の協力が得られ、延べ 85 日分、243,624 件の地点データを収集しました。

#### i) 調査期間

- ・令和 3（2021）年 10 月 16 日～12 月 18 日

#### ii) 調査対象者

- ・以下を全て満たす旅行者
  - ① とちぎ帯広空港に到着し、とちぎ帯広空港から出発する（帰る）旅行者
  - ② 旅行行程が 5 日以内の旅行者
  - ③ 調査趣旨を理解し、かつルール通りの利用が可能な旅行者

#### iii) 調査箇所

- ・とちぎ帯広空港の観光案内所にて、調査説明・調査機器の配布回収を実施

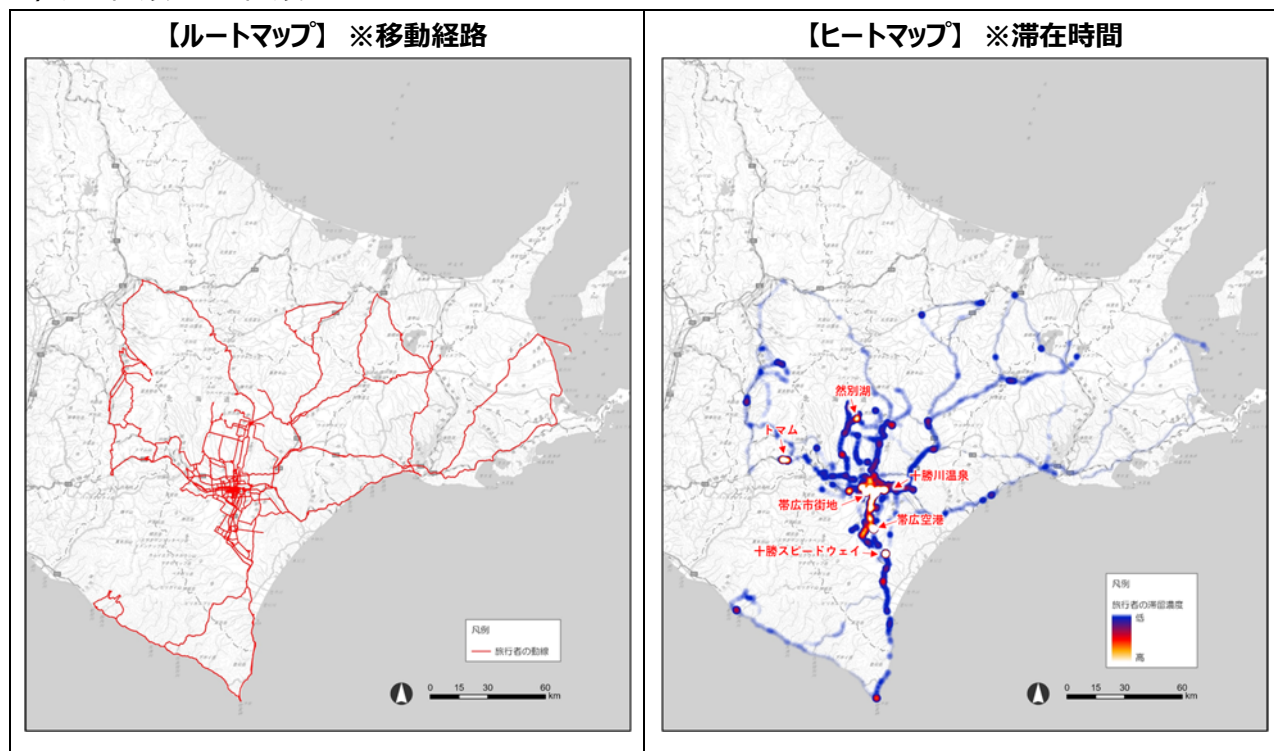
#### iv) 回収件数

- ・調査協力者数（組数）：30 組
- ・延べ旅行日数：85 日
- ・累計地点データ数：243,624 件

## (2) 調査結果

- ☒ 旅行者の移動経路は、とちかち帯広空港・帯広市を中心に道東全体にわたっています。
- ☒ 主な滞在場所は、帯広市の市街地や十勝川温泉などが挙げられます。
- ☒ 立ち寄り箇所の上位には、十勝川温泉や帯広競馬場など、帯広市近郊が挙げられます。

## i) ルートマップ・ヒートマップ



※ルートマップ：旅行者の移動軌跡を地図上にラインデータで図示したもの

※ヒートマップ：旅行者の滞在時間によって地図上に色を図示したもの

## ii) 立ち寄り回数ランキング

地点名	市町村	訪問組数	滞在時間	地点名	市町村	訪問組数	滞在時間
十勝川温泉	音更町	10	20:48:04	丸美ヶ丘温泉ホテル	音更町	3	1:24:03
帯広競馬場	帯広市	9	2:03:39	かんの温泉	鹿追町	3	6:29:23
六花亭帯広本店	帯広市	9	0:37:45	駒場並木	音更町	3	0:09:21
旧幸福駅	帯広市	7	0:23:44	道の駅かみしほろ	上士幌町	3	0:45:15
愛国駅跡	帯広市	5	0:10:53	藤丸百貨店	帯広市	3	1:06:42
森のスパリゾート北海道ホテル	帯広市	5	23:00:42	道の駅しかおい	鹿追町	3	0:26:29
道の駅ピア21しほろ	士幌町	4	0:26:00	道の駅ガーデンスパ十勝川温泉	音更町	3	0:16:24
ぶた井のとん田	帯広市	4	0:56:09	道の駅なかさつない	中札内村	3	0:16:24
柳月スイートガーデン	音更町	3	0:42:40	襟裳岬	えりも町	3	0:56:51
星野リゾートトマム	占冠村	3	24:20:38	十勝が丘展望台	音更町	3	0:07:16

※滞在時間 (h:m:s、一組あたり)

## 2.2.6 計画の対象路線（路線バス）の収支状況等

- ☑ 2.2.6 では、バス事業者提供データに基づいて、本計画の対象路線である地域間幹線系統及び広域生活交通路線の収支状況等について示します。（データ：令和 3（2021）バス事業年度実績）
- ☑ データ整理の対象路線は、本計画の対象路線のうち地域間幹線系統 16 路線と広域生活交通路線 1 路線とします。

### (1) 第 1 分科会

#### 5 上士幌線（十勝バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	145,546 人	経常収益	34,543 千円	欠損額	51,618 千円
平均乗車密度	4.0 人	経常費用	86,161 千円	国・道補助額	32,079 千円
輸送量	29.2 人	収支率	40.1%	市町村補助額	19,539 千円

#### 6 十勝川温泉線（十勝バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	43,676 人	経常収益	10,630 千円	欠損額	14,354 千円
平均乗車密度	2.3 人	経常費用	24,984 千円	国・道補助額	10,678 千円
輸送量	17.9 人	収支率	42.5%	市町村補助額	3,676 千円

#### 7 音更線（十勝バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	440,073 人	経常収益	79,798 千円	欠損額	37,425 千円
平均乗車密度	5.2 人	経常費用	117,223 千円	国・道補助額	0 千円
輸送量	119.6 人	収支率	68.1%	市町村補助額	0 千円

※令和 5 バス事業年度より新規補助対象となっている路線です

#### 12 上士幌線（北海道拓殖バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	60,663 人	経常収益	20,826 千円	欠損額	29,219 千円
平均乗車密度	4.2 人	経常費用	50,044 千円	国・道補助額	17,906 千円
輸送量	20.5 人	収支率	41.6%	市町村補助額	11,313 千円

#### 13 音上線（北海道拓殖バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	40,188 人	経常収益	12,742 千円	欠損額	19,316 千円
平均乗車密度	4.5 人	経常費用	32,058 千円	国・道補助額	12,932 千円
輸送量	15.3 人	収支率	39.7%	市町村補助額	6,385 千円

**(2) 第2分科会**

## 8 緑駒線（北海道拓殖バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	20,726人	経常収益	5,090千円	欠損額	5,600千円
平均乗車密度	3.4人	経常費用	10,691千円	国・道補助額	3,179千円
輸送量	13.6人	収支率	47.8%	市町村補助額	2,421千円

## 9 然別湖線（北海道拓殖バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	53,238人	経常収益	16,711千円	欠損額	43,234千円
平均乗車密度	2.8人	経常費用	59,946千円	国・道補助額	23,588千円
輸送量	10.6人	収支率	27.9%	市町村補助額	19,646千円

## 10 鹿追線（北海道拓殖バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	32,566人	経常収益	9,350千円	欠損額	15,682千円
平均乗車密度	3.4人	経常費用	25,032千円	国・道補助額	8,353千円
輸送量	11.9人	収支率	37.4%	市町村補助額	7,329千円

## 11 新帯線（北海道拓殖バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	35,203人	経常収益	11,277千円	欠損額	27,768千円
平均乗車密度	3.0人	経常費用	39,045千円	国・道補助額	15,237千円
輸送量	10.5人	収支率	28.9%	市町村補助額	12,531千円

## 14 雄飛が丘団地線（北海道拓殖バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	57,192人	経常収益	13,898千円	欠損額	27,458千円
平均乗車密度	1.8人	経常費用	41,356千円	国・道補助額	9,585千円
輸送量	28.0人	収支率	33.6%	市町村補助額	17,863千円

## 15 中鈴蘭循環線（北海道拓殖バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	24,234人	経常収益	5,150千円	欠損額	10,797千円
平均乗車密度	2.6人	経常費用	15,947千円	国・道補助額	6,270千円
輸送量	25.7人	収支率	32.3%	市町村補助額	4,526千円

**(3) 第3分科会**

## 4 広尾線（十勝バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	157,974人	経常収益	84,712千円	欠損額	180,324千円
平均乗車密度	3.7人	経常費用	265,036千円	国・道補助額	112,624千円
輸送量	46.6人	収支率	32.0%	市町村補助額	67,700千円

**(4) 第4分科会**

## 2 帯広陸別線（十勝バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	121,655 人	経常収益	53,877 千円	欠損額	169,863 千円
平均乗車密度	3.1 人	経常費用	223,740 千円	国・道補助額	95,136 千円
輸送量	25.7 人	収支率	24.1%	市町村補助額	74,727 千円

## 3 南商あかしや線（十勝バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	122,174 人	経常収益	25,771 千円	欠損額	19,906 千円
平均乗車密度	4.6 人	経常費用	45,677 千円	国・道補助額	7,487 千円
輸送量	43.2 人	収支率	56.4%	市町村補助額	12,419 千円

## 17 幕別線（十勝バス株式会社）【広域生活交通路線】

年間輸送実績	24,911 人	経常収益	5,350 千円	欠損額	7,906 千円
平均乗車密度	3.4 人	経常費用	13,256 千円	道補助額	2,932 千円
輸送量	10.2 人	収支率	40.4%	市町村補助額	4,974 千円

**(5) 第5分科会**

## 1 芽室線（十勝バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	56,207 人	経常収益	13,342 千円	欠損額	13,701 千円
平均乗車密度	3.7 人	経常費用	27,043 千円	国・道補助額	5,494 千円
輸送量	23.3 人	収支率	49.3%	市町村補助額	8,207 千円

**(6) その他**

## 16 陸別線（北海道北見バス株式会社）【地域間幹線系統】

年間輸送実績	82,520 人	経常収益	29,282 千円	欠損額	63,740 千円
平均乗車密度	3.0 人	経常費用	93,021 千円	国・道補助額	40,221 千円
輸送量	19.8 人	収支率	31.5%	市町村補助額	23,519 千円



## (7) 対象路線 17 系統のまとめ

- ☒ 本計画の対象となる域内の地域間幹線系統及び広域生活交通路線の令和 3（2021）バス事業年度実績について、全 17 系統を合算すると、年間延べ数で約 150 万人の利用となっています。往復利用で週に 5 日利用だと仮定すると、ヘビーユーザーは約 2,900 人で、ライトユーザーを含めるとさらに多くの住民・来訪者に利用されていることが分かります。
- ☒ 経常費用は合算で 11 億円を超えており、欠損額は▲7.38 億円、収支率は 36.9%です。
- ☒ 市町村補助額の合計は 2.9 億円を超えており、輸送 1 人あたりに要している市町村補助額は 193.5 円/人となっています。

	十勝バス 株式会社	北海道拓殖バス 株式会社	北海道北見バス 株式会社	対象路線合算
路線数	8 路線	8 路線	1 路線	17 路線
年間輸送実績	1,112,216 人	324,010 人	82,520 人	1,518,746 人
平均乗車密度 5.0 未 満	7 路線	8 路線	1 路線	16 路線
輸送量 15.0 未満	1 路線	4 路線	0 路線	5 路線
経常収益	308,024 千円	95,043 千円	29,281 千円	432,348 千円
経常費用	803,120 千円	274,118 千円	93,021 千円	1,170,259 千円
収支率	38.4%	34.7%	31.5%	36.9%
欠損額	495,096 千円	179,075 千円	63,740 千円	737,911 千円
国・道補助額	269,363 千円	97,061 千円	40,221 千円	406,645 千円
市町村補助額	188,308 千円	82,014 千円	23,519 千円	293,841 千円
■輸送 1 人に要して いる市町村補助額	169.3 円/人	253.1 円/人	285.0 円/人	193.5 円/人

(令和 3（2021）バス事業年度)

## 2.2.7 運転手の在籍状況

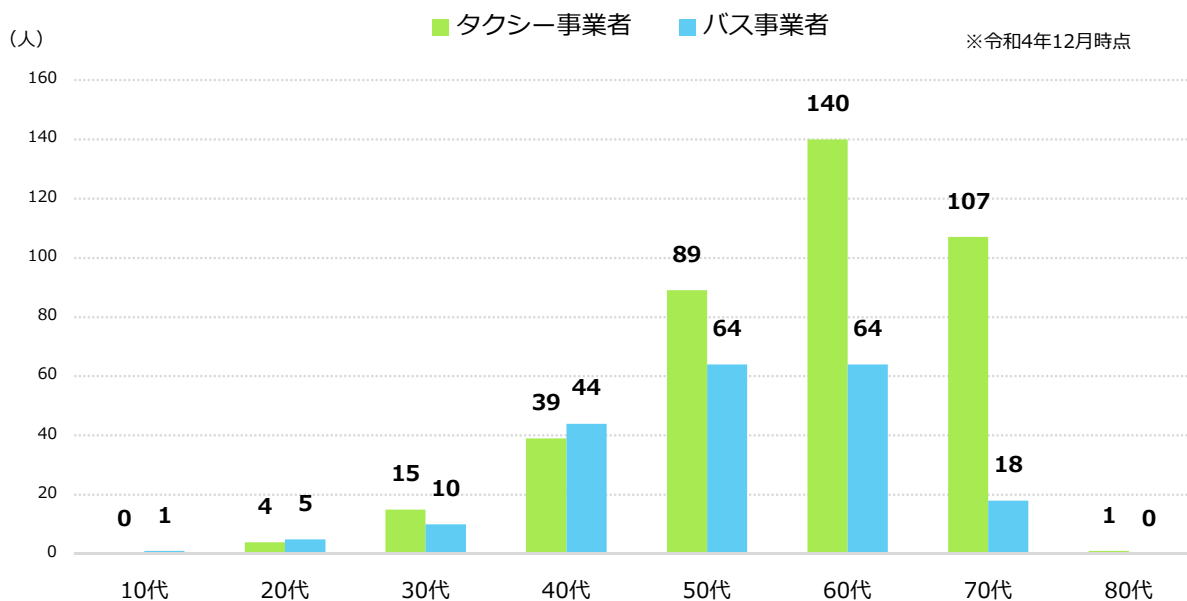
☒ 2.2.7 では、地域の公共交通を支える運転手の在籍状況について示します。

### (1) バス運転手の在籍状況

- ☒ 十勝地域のバス事業者 2 社では合わせて令和 4（2022）年 12 月時点で 206 名の運転手が在籍しています。
- ☒ しかし、在籍者の約 4 割が 60 歳以上となっており、運転手不足が危惧されます。

### (2) タクシー運転手の在籍状況

- ☒ 帯広ハイヤー協会に所属する法人事業者には合わせて令和 4（2022）年 12 月時点で 395 名の運転手が在籍しています。
- ☒ しかし、在籍者の 6 割以上が 60 歳以上となっており、運転手不足が危惧されます。



図：バス及びタクシー運転手の年齢階層別在籍状況（令和 4（2022）年 12 月時点）

出典：交通事業者へのヒアリング調査及び帯広市提供データをもとに作成